



子どもたちはもっと輝く!

大阪府立佐野支援学校

センター室だより

No. 47

教師の専門性①(子どもとの対話)

「何をもって教師の専門性」と言うのか、難しいところです。「障害についての知識が豊富」とか「授業のネタをたくさん知っている」ということも重要かもしれませんが、そんなものは時代の流れで絶えず新しいものに変化します。そういう点では、教師は常に進化しなければならない職業なのです。

でも、普遍的なこともあります。私見ですが……

子どもとしっかり対話ができる

ことが大事なポイントの一つではないかと思っています。「対話」ですから一方通行ではありません。まず、自分の伝えたいことが「わかりやすく相手に伝わる」ことが必要です。さらに相手の反応をしっかり受け止めたり、引き出したりしなければなりません。



ベテランの先生を見ていると、まだことばの出ない子どもと向き合っているけど、必ず子どもの行動に意味を見い出し「○○くん、こんなこと言ってる」と代弁することができます。



そして、ことばが返ってこなくても、ていねいに「ことばがけ」をしています。みなさん、どうですか？